

杜春会ミニ通信 第8号 8103

本号では30周年記念事業および同日合わせて開催される
杜春会総会のスケジュール等を中心に御紹介いたします。

○記念式典当日のスケジュール — 昭和56年5月16日(土) —

1. 昭和54・55年度杜春会総会 12:00~13:00

〔場所〕宮城県労働福祉会館5階 小会議室

2. 記念講演会 13:30~16:20

〔場所〕宮城県労働福祉会館5階 大会議室

〔講師〕志賀敏男先生他

〔聴講〕杜春会会員以外の方にも公開します。

3. 記念パーティー 17:30~20:00

〔場所〕仙台プラザホテル3階 松島の間

・宮城県労働福祉会館 仙台市上杉一丁目5-13 (22)1121

・仙台プラザホテル 仙台市本町二丁目20-1 (62)7111

○お願い

1. 杜春会総会出欠(委任)通知および記念パーティー出欠通知を
同封の葉書で4月10日(金)までにお送り下さい。
2. 記念パーティー参加について予約金を支払う方は4月10日(金)
までに同封の振込用紙で御送金下さい。

□建築学科創立30周年に向けて（学科近況） 会長 桂 久 男

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。不景気の風が又吹き荒れそうな空模様となっております。身体に気を付けてなお一層の御活躍を祈って居ります。

いよいよ、学科創立30周年の記念すべき年がやってまいりました。皆様の御支援で30周年の各種記念事業は、長谷川先生を会長として着々と進行中です。早くからスタートしました記念誌編集委員会は、佐藤巧先生の指揮のもと原稿の作成、集約も終り、最後に残っていた紙面をかざる座談会も無事終了し、祝賀会に間に合わせるべく目下組版、印刷進行中です。内容は、会員の御期待に沿えるものと編集委員一同は自信を持っているようですので発刊をぜひ楽しみにして下さい。また、記念講演会、祝賀会の方も志賀先生の指揮で、その段取の決定を見ることができました。本号に詳細が示してありますのでとくと御覧下さいませよう。祝賀会はもとより講演会をより一層盛大なものにするのを念じてます。それには会員の多数の参加が不可欠です。開催期日を青葉の目にしむ絶好の季節にセットしてありますのでぜひ参加されますことをお願いいたします。この機会に御家族同伴でこの仙台へおいでいただくのも宜しいかとも思います。

杜春会独自の協賛事業である記念コンペも当初応募がないのではないかと危惧されましたが、少数ながらも精鋭の応募があり、関係者一同安心したところです。

さて学科の近況ですが、特に変りはありませんが、志賀先生が、すでに御承知の通り建築学会の副会長に、さらに学内では工学部教授会から推挙されて大学全般の管理運営を司る評議員に就任されておられます。

そのほかでは、若い会員におなじみの事務の高森さんが3月で定年退官されます。また歴研の遠藤照江さんは2月で辞められ主婦に専心することとなりました。在職中のお二人の御苦勞に心から感謝したいと思います。

そして3月の卒業式には44名の新会員を迎えます。先輩にあたる諸兄にはいろいろお世話になると思いますので宜しく御指導、御鞭撻お願いいたします。

5月の祝賀会でお会いすることを楽しみにして筆を置きます。

□建築学科創立30周年記念事業の進捗状況

(1) 創立30周年記念誌について

ミニ通信第7号でお知らせしました様に、建築学科創立30周年記念事業の一環として、記念誌の刊行の準備を進めて来ました。

佐藤 巧委員長のもとに、年史・記録担当グループと論説・随筆担当グループを編成して、編集に取りくんできましたが、この程、ようやく、原稿を出版社に手渡すまでにこぎつけ、5月の上旬には発刊できる見通しとなりました。

B5版、約200ページになる予定です。

綿密な考証に基づく年史・年表・新旧教官・卒業生を交えての座談会。教官・卒業生の論説・随筆。また、旧南六軒丁時代の建物のかつての使用状況を復元した図など、内容は、かなり充実したものとなっております。なお、表紙は、第1回生穂積和夫氏にお願いしてあります。御期待下さい。

(2) 創立30周年記念式典について

記念式典委員会〔志賀先生・柴田先生・渋谷(45)・阿部和(45)・金原(8)・深瀬(9)・山本(3)・阿部良(15回生)〕はこれまでに数回の会合を持ち、創立30周年の記念式典として、講演会とパーティの2つの企画について検討して参りましたが、この度漸く下記のように開催が決まりましたのでご案内申し上げます。

記念講演会は、東北大学工学部建築学科創立30周年の節目を学外の方にも知って戴く意味をこめて、一般公開と致しました。記念パーティーは、創立30周年を記念して、教職員・卒業生が一堂に会し、退官・退職なされた教職員の方々をお招きし、懇親・懇談の会としようとするものです。

250~300名の集いになるものと考えております。下記の参加申込み方法により、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

□記念講演会

日時：昭和56年5月16日(土) 13.30~16.20

会場：宮城県労働福祉会館5階 大会議室

(仙台市上杉一丁目5-13 TEL22-1121 北消防署隣り)

聴講：自由、一般公開

講師：志賀敏男先生他

□記念パーティー

日時：昭和56年5月16日(土) 17.30~20.00

会場：仙台プラザホテル3階 松島の間

(仙台市本町二丁目20-1 TEL62-7111 レジャーセンター隣り)

会費：予約会費 8,000(但し大学院生は 5,000円)

参加申込み方法：同封のはがきと振替用紙にて4月10日(金)までお申し込みください。会場準備の都合上、原則として予約参加に限らせて戴きます。

なお、はがきのみでのお申し込みは当日会費(10,000円)とさせていただきます。また、振替にてのお申し込みには、特に領収書等の発行や払い戻しは致しかねますので御了承下さい。

(3) 記念コンペについて

杜春会設計競技1980は、テーマを「青葉山キャンパスへの提案」として実施したところ6点の応募作品が寄せられ、現在審査会を開いて第1次審査を行っております。その結果および応募案の紹介を兼ねて小冊子を印刷し、5月発刊予定の記念誌と共に会員の皆様宛に郵送したいと考えております。なお第2次審査は、5月16日(土)の記念式典にて行うことにしておりますが、同式典の都合で総会の参加者全員が審査し、即表彰することに致しました。どうぞ御了承の上、多数の参加を期待致します。

□昭和54、55年度杜春会総会の御案内

昭和54・55年度杜春会総会を下記の要領で開催いたします。昭和54年3月に改正された規約により本総会は2年に1度の開催であり、建築学科創立30周年記念事業についての報告、向こう2ヶ年の事業計画等、重要な議事を多く含んでおります。また今までの総会は3月に開催しておりましたが、今回は30周年記念式典と同日にし、皆様の御出席しやすい様に設定いたしました。記念式典と合わせて積極的に御出席下さいます様お願いいたします。

1) 昭和54・55年度杜春会総会

日時：昭和56年5月16日(土) 12:00~13:00

場所：宮城県労働福祉会館5階 小会議室

議案：○事業報告

○会計報告・監査報告

○役員改選(会長及び他役員の半数改選)

○会費改訂案、会則改訂案

○事業計画、予算案

○記念コンペ審査及び表彰

○その他

昼食：軽食を用意します。

2) 総会の出欠についてのごお願い

規約で総会は正会員の1/10以上の出席(委任状も含む)がないと成立致しませんので、同封致しました総会への出欠の返信につきましては、昭和56年4月10日(金)までに御返送頂きたく御協力をお願いいたします。

□会員の集い

(1) 大阪杜春会の集い

昨年、9月22日夜大阪郵便貯金会館で大阪杜春会の懇親会が催されました。建築学会大阪大会で来阪される先生方を囲んでの集いです。

幹事の山内君から開催の連絡を受けたのは1ヶ月前でしたが、その詳細は学会の5日前という慌しさでした。急拠先生方へ御招待の連絡をしたものの連絡がうまくいったのも確かめられず不安の中で大阪へ発ったものです。当日会場へ行ってみましたら栗山、高橋、佐々木先生を始め志賀、内山、吉岡、青木(志)、柴田先生が多忙なスケジュールを繰合せて御出席頂き、仙台から押しかけた会員15名を含めて総勢50名の大宴会、大変意識深い集いになりました。高橋先生の詩吟を始め各先生方から近況等を含めた御挨拶を頂戴し、久しぶりの古い会員の顔もあって喜びひとしおでした。宴たけなわとなつて、松本、久富両先輩の学生時代と変らぬ豪傑ぶりには若い後輩達は驚いた様子でした。数年前胃袋の手術をされてドクターストップのかかっている吉岡先生もすっかり癒えて酒量、意気共に増々盛んで我々を安心させて頂いたわけです。飲酒歓談尽きることない秋の夜長真に楽しいひと時でした。このような集いの開催に尽力された大阪杜春会の諸君並びに特に世話役の山内次郎、三宅孝両君に感謝申し上げます。

(2) 在仙14回生の集い

3年前から福島の生地に戻っている磯貝の叫びは、常に眠れる獅子を気取っている14回生を目覚めさせるに充分であった。ヒマだろうということで菅野がしぶしぶ幹事にさせられ、1月7日新年会を兼ねて同期会を開くことになる。在仙メンバーは、数えだすと10人を超えるが、何故か磯貝、近江、沼波、原田、菅野の5人しか集まらず、出欠の有無もとらずに6人のいいかげんな予約をしておいた安月給の幹事を慌てさせたが、中盤になって病氣療養中の志田が妻子に付き添われて元気な姿を見せ、一同特に幹事を喜ばせる。話題は、食えない設計のこと、最近元気がなくなったことも含めて健康のこと、ゴルフのこと、子供のことなどなど。そろそろ昔を懐しむ年になったと見えて、「ちょいちょい集ろうや」ということで散会。

(3) 18回生、10年目の再会

18回生卒業10周年記念同級会が昭和55年11月2日、宮城県作並温泉で開かれた。18回生の学部最後の年は、片平地区から青葉山地区への移転あるいは大学管理法々案の設立に反対する全国的な学生運動の激しい渦の中に過ぎ去ったが、あれから10年が過ぎ去ったかと思うと信じられない気がする。



3. 仙臺市立総合文化センターにて開かれた懇話会

今回の企画は、在仙幹事の鈴木幸一氏を中心に2月頃から準備が開始された。在京幹事の柏原氏や岩部氏を始め何人かの方々の御協力もあり、参加者合計35名という盛会であった。高橋、志賀、佐藤、寛、桂、平井、坂田、鈴谷の各先生方には春のうちから予定を確保して頂き、お忙しい中御参集頂いた。南は九州から名物・博多明太子を携えて飛んできてくれたO氏、北は雪が舞い始めた札幌からやってきたA氏を始め、3泊4日の長旅となるにも拘らずかけつけてくれ、相変らずの巨体をゆすって座を賑わしてくれたM氏等貫禄もお腹も出てきているが、皆昔の面影はそのまま残している者ばかりで、あたかも「Time Machine」で10年前に戻ったかのような一時であった。話は近況報告等から始ったが、次第に昔の話に花がさき、近代建築史の分野では日本のホープとなったF氏の「フジョウテイ構造物とは何か?」とか、O氏が試験の時忽然とあたかも教官のような雰囲気で見われ、実は同級生である事が後で知れて大笑いした話など、延々と続いた。第1会場の大広間は良いとして第2会場は6畳足らずのところになんと30数名が入るといふ熱気の中で行われ、翌日の朝刊で「建築の専門家がスリ詰めによる床の落下で多数負傷!」という記事が出るかも……等という冗談も飛びかった。また「明太子の辛みと脱毛の関係」や「会社の倒産による職場変更の苦勞話」あるいは「イラク出張中の友の安否」を初めとする仕事の話等にはさすがに各々が中堅として重要な立場に立たざるを得ない世代となっている事を感じさせられた。その宴はいつ打ち上げとなったか定かではないが、聞くところによると、お休みになった先生の部屋に押しかけて新たな会場を設け、延々と?次会が行われた。(更には、翌日、2日酔も何のその仙臺に戻って再び深夜まで飲んでいたという凄人達もいたと言う。)

♪ 今回は参加できなかったが、今や日本で最も有名なシンガーソングライターの一人となったO氏は、この会合の為に来仙するのかという問い合わせが2人の若い女性からあった事を付け加え、彼の更なる活躍を祈りたい。帰路、紅葉の中を走りながら近い将来の再会を約束して翌日の昼近く散会した。
(三橋記)

□杜春会セミナーについて

昨年まで3回開催してきました。杜春会セミナーは今年は30周年記念事業の一環として開催されます記念講演会に代えさせていただきます。講師は志賀敏男先生と他1人の方をお願いしております。1ページのスケジュールをお確めのうえ、ふるって御参加下さい。

□会費、記念誌出版負担金納入のお願い

56年度の会費、55年度までの会費、並びにミニ通信第6号でお知らせした30周年記念誌の出版負担金1500円未納の方は振込用紙を同封致しましたので、完納に御協力下さい。何かと出費多端の折と存じますが、重ねてお願いいたします。